

日刊 動労千葉

86. 3. 5
No. 2183

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五（六）（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

「33日は、3万人集合
進行」怒りの日だ、
33日、ダイ改
万強行弾劾
抗議集会開催



津田沼地区

三月三日、十七時三〇分より、津田沼支部組合事務所前において、3・3ダイ改阻止抗議集会在勤務者以外、七四名の組合員と新小岩支部、幕張支部の動員者をむかえて開催された。集会は、綾部書記長の司会のもと、本部より水野副委員長、吉岡執行委員が参加するなか冒頭、全員で寒風を吹きとばす怒りの大シュプレヒコールをあげ開始された。

はじめに挨拶にたった山下支部長は、「1・28報復処分以降、長期強じん闘いぬくなかで、61・3ダイ改、業務移管の攻撃に対し、国労の妥結策動を許さない状況に追い込んできたことに確信をもとう」と提起するとともに、「闘いはこれからだ。動労『本部』革マルの裏切りを弾劾し、闘う仲間を結集し、

中野の乗務員に共に闘うことを訴えていきたい」と決意を表明した。続いて、本部から水野副委員長が挨拶にたち、2・15第二波ストライキの決起に対して敬意が表明され、第一波闘争の成果、千葉転の三名の決起、年末年始を吹きとばした闘い、一月二八日の不当処分以降一カ月間にわたる第二波闘争の切り拓いた地平を明らかにするとともに、「今日、当局は三月ダイ改を一方強行し、動労『本部』、鉄労・全施労の三組合による広域配転攻撃が予想されるが、闘うことぬきに未来はないという立場で二波の闘いの成果を確認し、断固闘っていかねければならない」と発言された。



千葉地区

三日、十七時三〇分より、寒風の吹き荒れる千葉運転区庁舎前において、「61・3ダイ改強行糾弾3・3抗議集会」が開催された。

当局は、玄関で阻止線をはり、集会妨害にでてきたが、組合員の怒りの一喝で庁舎内に引きこもってしまった。新小岩、勝浦、館山、木更津の各支部から一五〇名の仲間が結集し、桜沢特執の司会で、山口副委員長が本部を代表して「われわれの職場・仕事を奪う連中を許してはならない。当局・公安に守られた姿を見よ。あくまでわれわれは、労働者として闘う」とのあいさつを受けた後、各支部からの決意表明にうつつり、「われわれも苦しいが、それ以上に敵も苦しい」「業務移管はいずれ外周区がなくなるのだ。絶対に許してはならない」「線見阻止を全力で闘った。3・30三里塚へ、さらに第三波をともに闘う」との力強い決意が述べられた。

そして、千葉転支部から白井副支部長がたち「今日、3・3は、マスコミの埼京・京葉線開業で祝賀ムードだ。だが、われわれにとつては、三万人合理化の怒りの日だ。スト、線見阻止の闘いは、国労をまきこんで対決のままむかえている。激しい怒りで闘いを持続して行こう」と訴えた。続いて、青年部の白ヘルを先頭に、寒風をついて構内デモを貫徹し、庁舎前に闘争勝利ノ首切り粉碎ノのかけ声がこだました。最後に、山口副委員長が「団結ガンバロー」で集会は成功裡にかちとられた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

不当処分粉碎
「61」ダイ改阻止
33日二波闘争総括集会
18時
千葉市会館